



ランドローバー、ディフェンダーEV の新型研究車両を
ジュネーブモーターショーで初公開

- ランドローバーは、技術革新および、環境に配慮した車両開発を継続的に実施
- 高い評価獲得のオールテレーン性能を有しつつ、ゼロエミッション実現に向け開発された車両
- 70kwの電気モーターとリチウムイオンバッテリーを組み合わせた革新的なパワートレイン

2013 年 2 月 28 日、UK ホイットリー発

ランドローバーは、ジュネーブモーターショーでディフェンダーの新型 EV (電気自動車) モデル 7 台を公開します。これは、ランドローバーが英国の革新的かつ最先端の自動車技術に継続的に取り組むことを表しています。ディフェンダーEV の研究車両は、地形を選ばずどこへでも行けるタフな性能を保持する一方で、CO₂ 排出量がゼロのゼロエミッションを実現しています。

ランドローバーのグローバルブランド・ディレクターのジョン・エドワーズは次のように述べています。「技術革新への投資は我々のビジネスにとって常に不可欠な要素です。当社のエンジニアリングチームは、環境に配慮したクルマを提供するために、革新的な新技術の開発に懸命に取り組んでいます。」

EV モデルには、標準的なディーゼルエンジンとギアボックスの代わりに、出力 70kW(94bhp) / 330Nm の電気モーターと、蓄電量 27kW、300 ボルトのリチウムイオンバッテリーが搭載され、航続距離は 50 マイル以上になります。従来の低速走行のオフロード使用では、最長 8 時間、充電せずに走行可能です。バッテリーは、7kW の急速充電器を使えば 4 時間で、3kW のポータブル充電器では 10 時間で充電が完了します。

EV ではディフェンダーの伝説的ともいえる 4WD システムとデフロックを継承しています。電気モーターは発進と同時に最大トルクを発生するため、ギアチェンジの必要はなく、トランスミッションの構成は、減速比 2.7:1 のシングルギアボックスと既存のディフェンダー4WD システムとの組み合わせです。また、最新のテレインレスポンス[®]システムが搭載されています。

ディフェンダーの EV モデルは、ディフェンダーをベースとした電気自動車「レパード 1 (Leopard 1)」の研究車両をつくりあげた、ランドローバーのアドバンスト・エンジニアリングチームによって開発されました。ディフェンダーEV の車両では、極限状態や不安定な環境下での試験を通じ、一般道路を走行する従来の EV とは比することができない性能が確認されました。テスト走行時には、最大 13° の傾斜地での 12 トンの「ロードトレーラー (連結トレーラー)」の牽引や、水深 800mm の渡河も行われました。



スムーズな低速走行を可能にする電動ドライブトレインは、ランドローバーの「トレッド・ライトリー(Tread Lightly)」の精神に合致し、ディフェンダーEV は地面を必要以上に傷つけずに、障害物を乗り越えるような走行に特に適したクルマとなっています。

重量 410kg のバッテリーは、ディーゼルエンジンの代わりに、ディフェンダーのフロント部分に設置されています。車両重量はベースモデルのディフェンダー110 より 100kg 重く、異なるボディタイプ、ピックアップ、ハードトップ、もしくはステーションワゴンの各々タイプによって 2055kg から 2162kg までとなります。

電動パワートレインの全主要部品は、(バッテリー、インバーター、モーターも含め)水冷式ではなく空冷式です。これにより、軽量化やシンプルな構造が実現し、また、堅牢性も向上しました。回生ブレーキは、ヒル・ディセント・コントロール(HDC)の使用時に、モーターが 30kW の電気を発電できるほど最適化が図られています。バッテリーは寿命を短縮することなく容量の倍の 54kW まで瞬時に充電が可能のため、ほぼすべての回生エネルギーを回収し蓄電することが可能です。使用状況次第で、車の運動エネルギーの 80%までをこの方法で回収ができます。

ジャガー・ランドローバー、リサーチ部門のトップであるアントニー・ハーパーは次のように述べています。「このプロジェクトは、当社にとって、たとえ最も過酷な状況下でも電気自動車の評価を可能とする継続的な実験室の役割を果たしています。将来のランドローバー車に導入されるかもしれない技術を進化させ、試みる機会なのです。」

現時点において、オールトレイン対応のディフェンダーEV を量産化する予定はありませんが、7 台の EV は今年後半にも専門的な用途での使用を予定しています。

以上

詳細については、ジャガー・ランドローバー・ジャパン プレスサイト <https://pr.jlr.jp/>をご参照ください。

エディタースノート

- ランドローバーは 1948 年以來、そのモデルシリーズ全体にわたり、真の意味での『幅広い機能 (breadth of capability)』を象徴する本格的な 4x4 を造り続けてきました。ディフェンダー、フリーランダー、ディスカバリー、レンジローバースポーツ、レンジローバー、そしてレンジローバー・イヴォークは、それぞれが世界の 4x4 市場の各カテゴリーを代表するモデルで、その 80%が世界 140 か国以上に輸出されています。
- ランドローバーは気候変動問題に取り組んでおり、2006 年 9 月以降、ランドローバーの製造工程で排出される CO₂、および英国内のユーザーがランドローバー車を運転することによって排出する CO₂については、クライメートケア社が提供する業界有数のオフセットプログラムの利用を通じて相殺しています。



◆読者からの問い合わせ先◆

ランドローバーコール(フリーダイヤル)0120-18-5568
(9:00~18:00、土日祝日を除く)

◆この件に関する報道関係者からの問い合わせ先◆

ジャガー・ランドローバー・ジャパン マーケティング・広報部
03-5470-4242

広報写真、発行済プレスリリース、および広報資料などは
ジャガー・ランドローバー・ジャパン プレスサイトを
ご利用ください

<https://pr.jlr.jp/>

※ご利用にはユーザー登録が必要になります